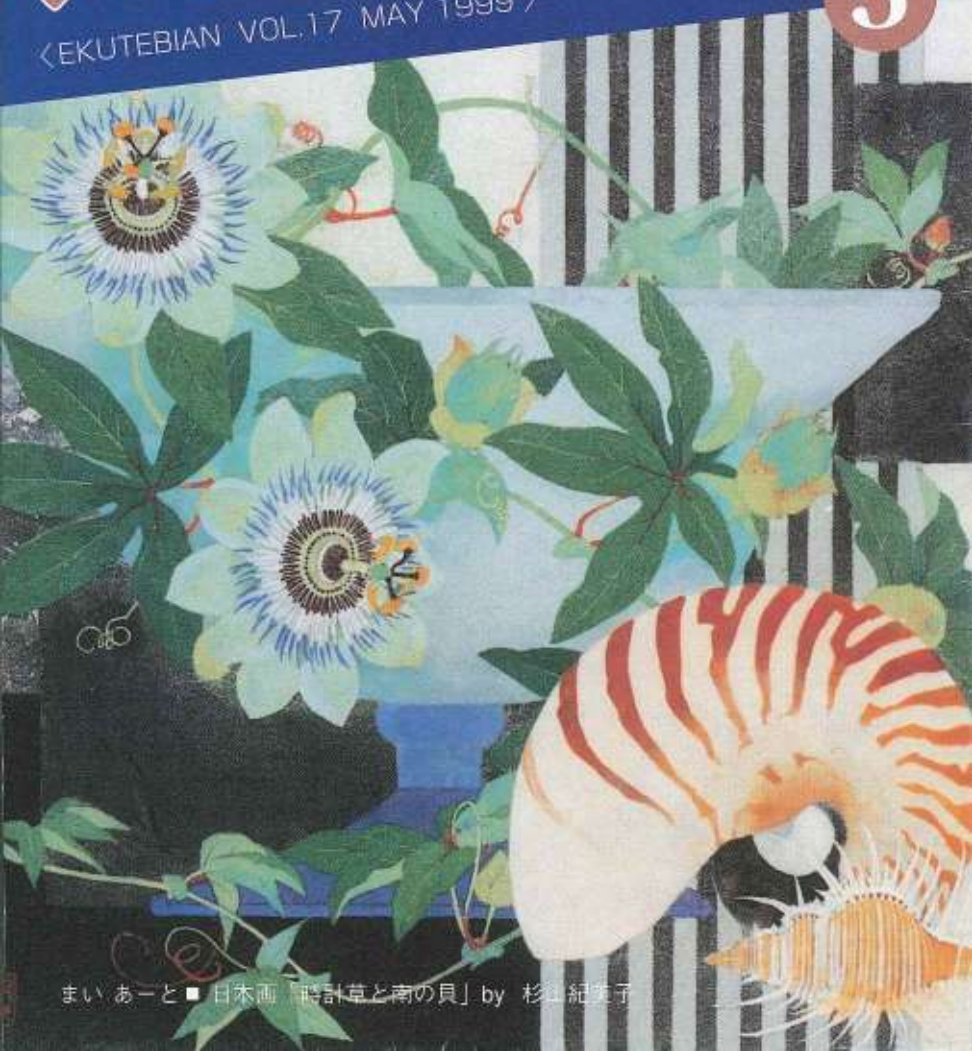
月刊

立川と語ろう　立川に生きよう

えくてびあん

5

〈EKUTEBIAN VOL.17 MAY 1999〉



まいあーと■日本画「時計草と南の貝」by 杉山紀美子

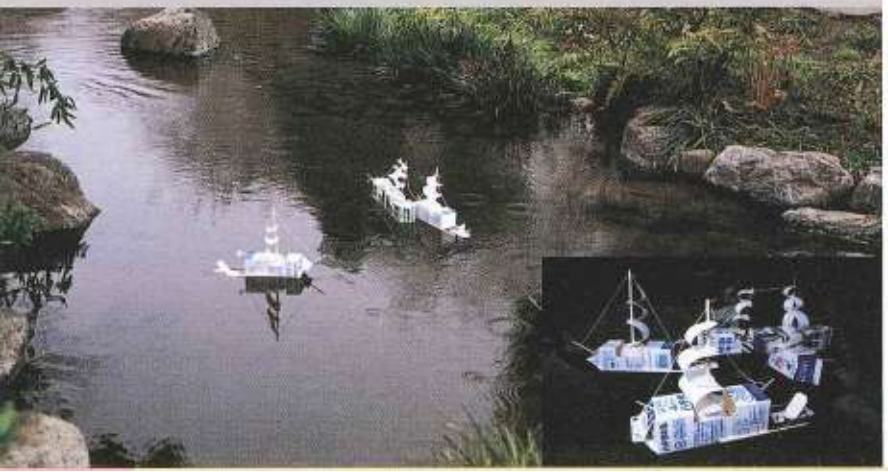
くらふと画報 ④　協力：立川市クラフト同好会

牛乳パック・ボート

“ゴミ箱行き”の前にワクワク感を！

どこの家庭にもある牛乳パックは工作にはうってつけの素材。水に強く加工もしやすいので、工夫次第で様々なモノが作れる。今月は遊び心一杯のボートを作ってみた。「スクリューをつける時は実際に水に浮かべながら考えること。位置によっては水の抵抗で全く回転しないこともあります」（大根田さん）。素材が手軽なだけに失敗しても全然気にならないが、いざ水に走らせた時のワクワク感はちょっとしたもの。大海へのロマンとまではいかなくとも、この高揚感、久々に味わった。

今月の先生
大根田和美さん（栄町）



1 材料一式。牛乳パック、割箸などなど。要するに身近なもので充分。わざわざ買い揃えることはない。

2 接着剤でしっかり口を閉じた牛乳パックで本体の作成。中央部に切り込みを入れ、内側に折り込む。

3 折り込んでできたくぼみに割箸のマストを立てる。土台の部分に紙コップ等を使えば補強になる。

4 紙を適当な大きさに切って帆を作る。まるめて穴を開け、割箸に通すだけ。色紙を使っても楽しい。

5 牛乳パックの端切れを組み合わせ、スクリューを作る。中心部分に通した輪ゴムが動力源。

6 本体にスクリューを取り付ける。何回か浮かべてみて、最適の位置を決めれば完成。

●えくてびあんレポート

拝啓 スズカケ三兄弟

高松町一丁目、南北道路の交差点際に並び立つ
君たち、スズカケの木「三兄弟」。
戦後から今まで、立川の街の移り変わりを
ずっと見守り続けてきた君たちが
切り倒されるかも知れないという話を聞いた。
それは、本当なのか？

十五年前の春、福岡は檜原（ひばる）という街で
道路の拡張工事を免れた桜の木の話を
君たちは知っているか？
桜を救ったのは福岡市民、
一人一人の「声」だったんだ。

君たちは檜原の桜みたいな名木ではないけれど
「自然がくりかえすリフレインのなかには
限りなく私たちを癒してくれる
何かがあるのです」
このレイチェル・カーソンの言葉の意味を
君たちを見ながら、考えてみたいんだ。

●スズカケに思うこと

横幕玲子さん
（都環境学習リーダー・栄町）

主婦として、生活者の立場から環境問題に取り組んでいますが、この木の存在感は独特ですね。駅からちょっと歩いた場所に、こんなに大きな伸び伸びとした木がある街なんて、あまり例がないんじゃないでしょうか。

一つの例ですが、ヒト１人が１年間に排出する二酸化炭素を酸素に還元するには、樹木の葉を１枚１枚平らに敷きつめ、およそ12メートル四方のスペースを埋めるぐらいの分量が必要だそうです。そう考えると、木を１本切ってしまうことによって生じる生活環境への弊害、特に都市化が進む地域では、深刻な問題と云っても過言ではないかも知れません。

未来の立川のためにも、残しておきたいと考えます。

佐伯政雄さん
（造園業・羽衣町）

スズカケってのはどこにでもある木。珍しいものではない。枝が強くビョンビョン伸びて、葉っぱの裏には粉塵がつきやすい。植木屋泣かせの木なんですよ（笑）。言葉は悪いが「伐採されやすい」木ではあります。でも、これだけ大きくなった木を切っちゃって寂しく思う人の気持ちはよく分かる。だからこそ、感情論で大騒ぎしちゃダメなんです。「切ったら可哀そう」なんて安易な気持ちじゃなくて、その後の管理や手入れの部分もきちんと考えないと。

ようするに人間と同じ。ちゃんと「思い入れ」を持って接していけるかどうか。この仕事をしていると、思い入れを持たれてる木はすぐ判る。その時の気紛れで騒がれたんじゃ、いちばん可哀想なのはこの「三兄弟」でしょう。

友安　昭さん
（デザイナー・上砂町）

枝々を通して眺める朝日の美しさ。初夏の風に揺れて輝く緑。デザインという仕事の上でも、気持ちの部分でも、この「三兄弟」の姿に、私はいつも勇気づけられ、救われていたような気がします。街路樹として一般的な木ですが、こんなに大きく自由に伸びていった姿、その存在感は大きいですね。

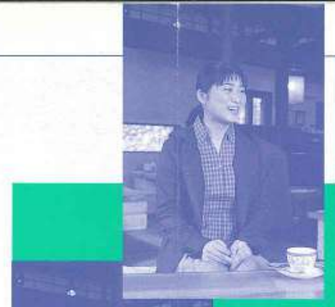
参加している「市民文化フォーラム」では、現在モノレールの高架下の活用を任されていますが、スズカケの木とは目と鼻の先。この木の存在を含めた計画の在り方を提案したいと思っています。文化、あるいは教育の「象徴」としての役割を、この三兄弟は立派に担ってくれるのではないでしょうか。市が掲げる「文化とやさしさのある街」。この言葉を、建前では終わらせたくありません。

シリーズ この人と1時間⑳

『第48回全国小中学校作文コンクール』特選・読売新聞社賞受賞

川崎晴恵さん

書きました。獲りました。全国作文コンクール特選



娘より

今日、熟の帰りに母の手に触れました。
かゆそうな赤い斑点がいくつもついていて、
とても醜い手をしていました。
なのに、
その手はとても温かいのです。
外見はあんなに醜いのに。
あれはがんばっている母の手です。
一生懸命になって家族を守り続けて
くれた母。
私は尊敬します。

今日、熟の帰りに母の手に触れました。
今にも壊れてしまいそうなその手は、
とてもかっこいい母の手に見えました。
私は
その手を愛おしく思います。
もし
今、母に一言伝えることが出来るのなら、
どうか、
どうかその手のままでいて下さい。
あなたの苦労を感じるたびに
何の言葉もかけて挙げることが
出来ずにいる娘のために。
お願いです。

親愛なる母へ、娘より。

本対談初の“十代”の登場である。平成10年度『第48回全国小中学校作文コンクール・中学生の部』（読売新聞社主催）に於て、応募2,174作の中から堂々特選に輝いた、川崎晴恵さん（幸町２丁目）。この春から高校生となった15才の女の子だ。

受賞作品は母への敬慕と感謝の意を手紙形式で綴った詩作『娘より』。母親の手を「醜く、そしてかっこいい」と表すヴィヴィットな筆力には、ただ感嘆するのみ。一体どんな女の子なんだろう、と期待の中に現われた少女は、果たして、古の文学少女の雰囲気とイマドキの感性を矛盾なく併せ持つ、聡明な女の子であった。

「人前に出ることは恥ずかしい」というところを無理にお願いし、勇気をしぼって登場してくれた晴恵さん。おかげでこれまでにない、新鮮でなんとも穏やかな空気に包まれた対談となった。ありがとう、晴恵ちゃん！

啓介　晴恵さんはいつ頃から詩を書き始めたんですか。

晴恵　最初は絵を描くことが好きだったんですけど、その絵に文をつけたくなって、チョコチョコ書いてたのが6年生ぐらいかな。絵と詩を分けて書き始めたのは、中学生になってからです。

啓介　中学校（市立六中）では文芸部か何かで活動してたんですか。

晴恵　吹奏楽部でした。部長やってたんです（笑）。

啓介　ほお、部長さんだったんだ。ちなみに楽器は？

晴恵　トランペットです。

啓介　中学校には文芸部はなかったんですか？

晴恵　あることはあったんですけど、中学の文芸部は「帰宅部」みたいなもんでしたから。

啓介　え、キタク部？　何、それ。

晴恵　知らないんですか（笑）？　部はあるけれど、活動しないで皆家に「帰宅」しちゃうから、帰宅部って云うんですよ。

啓介　へえ、最近はそういう言葉があるんだ（笑）。

晴恵　文芸部に入っている人は、運動部と掛け持ちでやっている人がほとんどだったから、文芸部の活動は片手間みたいな感じだったんですね。

啓介　なるほど、じゃあ晴恵さんの場合、創作は自分ひとりで行なっているわけだ。友だちに作品を見せたりはしなかったんですか。

晴恵　ないこともないんですけど、小説とは違って、詩に興味を持ってくれる人っていないんですよ。見せても、なんか反応が帰ってこない。詩って短いじゃないですか。だから、「これで終り？」って聞かれちゃう（笑）。

啓介　はは、深いところまでは読み取ってくれないんだ。

晴恵　もっとちゃんと読んでって云いたくなるんですけど、意味を説明しちゃったら、詩じゃなくなっちゃうし。

啓介　僕もね、昔「週刊詩・んー」という詩集を発行してて、毎週有楽町の駅に立って売ってたんです。

晴恵　あ、お借りした本に書いてありました。ひとりで売ってたんですか？

啓介　そう（笑）。でも一晩立っても5、6部しか売れないんだよね。詩に興味を持つ人って、そんなにいないもんだなあと思いましたねえ。

晴恵　読んでもらうためには、分かりやすくしなきゃいけないのかなあとか思うんですけど。でも、そうすると本当に書きたい気持ちが薄まっちゃう感じがするんです。

啓介　今回受賞された『娘より』という詩はどうでした。

晴恵　分かりやすくしました。受賞するようにと思って、ちょっと書き直しました。

啓介　ちょっと縮びた？。

晴恵　へへ、そういう云い方もできますね（笑）。

啓介　応募のきっかけはどんな感じだったんですか。

晴恵　友だちが、なんか一生懸命作文を書いているから「どうしたの」って聞いたら、「コンクールに出す」って云ってて。じゃ、私もちょっと書いてみようかなって。

啓介　この詩はコンクールのために書き下ろしたんですか？

晴恵　いえ、書きためてあった中から「これが賞を獲れるかなあ」って（笑）。それを直して。

啓介　ハハハ、立派な確信犯だね。それじゃあ、いざ特選が決まった時は嬉しかったでしょう。

晴恵　「やった！」って思いました。

啓介　自分の作った作品を他人に評価してもらうという経験も初めてでしたし。

啓介　僕が最初に読ませてもらった時に感じたのは、詩の中でお母さんの手を「醜い」って表現しているでしょう。詩全体を読むとお母さんを称えていることは一目瞭然なんだけど、この「醜い」っていう言葉から入っていくのは、凄いなと思いました。

晴恵　あ、ありがとうございます。

……恥ずかしいですね（笑）。

啓介　でも僕だったら、最後の1行「親愛なる母へ、娘より。」は、つけなかったな。この1行は無い方がいいんじゃないかなって。詩に興味を持ってくれる人っていないんですよ。

晴恵　そう、実はその1行が「分かりやすく」したところなんですよ。この詩も友だちに見せたんですけど、「これ詩なの？手紙ー」って聞かれて。だったら手紙の形にしちゃえって。最後の1行を後から付け足したんです。

啓介　なるほど、そうだったんですか。ところで晴恵さん、この春からいよいよ高校生ですね。どちらの高校に行かれるんですか。

晴恵　都立の府中高校です。受験の前に見学に行って、一目で気に入ってしまいました。なんか自由な感じがあって、もう「ここしかない」って。

啓介　ああ、それは良かった。学校を選ぶ基準はいろいろあるけれど、何よりも「自分が気に入った」ところに行けるということは幸せなことだと思いますねえ。

晴恵　府中高校は隣接学区なんで、私の中学からは一人だけ、私だけなんです。

啓介　あ、じゃあ同級生が知らない人ばかりなんだ。

晴恵　今はワクワク半分、不安半分といったところでしょうか。でも楽しみですね。

啓介　僕も進学の時にいくつか高校を見学して、その中にとても気に入ったところが見つかった。周りは自然に囲まれていて、通ってる生徒の姿もなんとなくバンカラ風でね。「俺はここだ」って先生に相談したら「お前の学力じゃ無理だ」って云われちゃった（笑）。でも頑張ってそこに行きましたよ。とても幸せだったなあ。学校が大好きだった。

晴恵　学力のレベルだけで高校を選んだ先輩たちに話を聞くと、みんな「つまんない」って云うんですよ。それじゃ寂しいなって思って。気に入ったところが見つかれば、そこが一番いいと思うんです。

啓介　「自分で選んだ」っていう自負心もあるでしょうしね。たとえば、詩を書くとか絵を描くという行為も、同じことが云えるでしょう。他人に作らされるのではなく、自分の気持ちから生まれてくる。創作活動は「創作したい」という気持ちがいちばん大事ですからね。

晴恵　私は絵を描くことが好きなので、中学の時、よく学校のポスターとか、冊子の挿絵とかを描いてくれって頼まれたものは。正直云うとあまり気持ちが乗らなかったですね。

啓介　作らされたものは、面白くないですものね。今、絵の話が出ましたけど、お父さんが美術の先生だそうですね。

晴恵　養護学校で美術の教師をしてるんです。母は看護婦をしてて、私は女ばかり四人姉妹の末っ子なんです。

啓介　へえ、女の子ばかりなんだ。末っ子で得することってある？

晴恵　姉の話をいつも聞いてるんで、普通の中学生が知らないような情報が入ってくるんですよ。それはちょっと得した気分になりますね（笑）。

啓介　逆に損することは？

晴恵　家事ができない（笑）。全部姉がやってくれるから、出る幕がないんです。友だちは上手な子が多いから、ちょっとあせってます（笑）。

啓介　将来の夢はありますか。たとえば、詩人になりたいとか。方がいいんじゃないかなって。

晴恵　その詩の1行が「分かりやすく」したところなんですよ。この詩も友だちに見せたんですけど、「これ詩なの？手紙ー」って聞かれて。だったら手紙の形にしちゃえって。最後の1行を後から付け足したんです。

啓介　なるほど、そうだったんですか。ところで晴恵さん、この春からいよいよ高校生ですね。どちらの高校に行かれるんですか。

晴恵　都立の府中高校です。受験の前に見学に行って、一目で気に入ってしまいました。なんか自由な感じがあって、もう「ここしかない」って。

啓介　ああ、それは良かった。学校を選ぶ基準はいろいろあるけれど、何よりも「自分が気に入った」ところに行けるということは幸せなことだと思いますねえ。

晴恵　府中高校は隣接学区なんで、私の中学からは一人だけ、私だけなんです。

啓介　あ、じゃあ同級生が知らない人ばかりなんだ。

晴恵　今はワクワク半分、不安半分といったところでしょうか。でも楽しみですね。

啓介　僕も進学の時にいくつか高校を見学して、その中にとても気に入ったところが見つかった。周りは自然に囲まれていて、通ってる生徒の姿もなんとなくバンカラ風でね。「俺はここだ」って先生に相談したら「お前の学力じゃ無理だ」って云われちゃった（笑）。でも頑張ってそこに行きましたよ。とても幸せだったなあ。学校が大好きだった。

晴恵　学力のレベルだけで高校を選んだ先輩たちに話を聞くと、みんな「つまんない」って云うんですよ。それじゃ寂しいなって思って。気に入ったところが見つかれば、そこが一番いいと思うんです。

啓介　「自分で選んだ」っていう自負心もあるでしょうしね。たとえば、詩を書くとか絵を描くという行為も、同じことが云えるでしょう。他人に作らされるのではなく、自分の気持ちから生まれてくる。創作活動は「創作したい」という気持ちがいちばん大事ですからね。

晴恵　私は絵を描くことが好きなので、中学の時、よく学校のポスターとか、冊子の挿絵とかを描いてくれって頼まれたものは。正直云うとあまり気持ちが乗らなかったですね。

啓介　作らされたものは、面白くないですものね。今、絵の話が出ましたけど、お父さんが美術の先生だそうですね。

晴恵　養護学校で美術の教師をしてるんです。母は看護婦をしてて、私は女ばかり四人姉妹の末っ子なんです。

啓介　へえ、女の子ばかりなんだ。末っ子で得することってある？

晴恵　姉の話をいつも聞いてるんで、普通の中学生が知らないような情報が入ってくるんですよ。それはちょっと得した気分になりますね（笑）。

啓介　逆に損することは？

晴恵　家事ができない（笑）。全部姉がやってくれるから、出る幕がないんです。友だちは上手な子が多いから、ちょっとあせってます（笑）。

啓介　将来の夢はありますか。たとえば、詩人になりたいとか。

晴恵　大人になったら、その時の気持ちで考えようかなと思ってます。なんか今、働いてみたいなあって思いますね。自分で自活をして、収入を得てみたい。

啓介　晴恵さん、僕はね、詩人という職業はないと思ってるんです。詩を感じる心を持っていれば、どんな職業の人でも詩人だといえると思う。たとえば画家とか作家とか「～家」という呼び方があるでしょう。これは尊称だから、自分から「私は～家です」という人はちょっと怪しいんだな（笑）。

晴恵　あ、そういえば私も、自分のことを「先生」と呼ぶ先生は嫌いでしたね。

啓介　強いて云えば、そういうことの見極めができる人こそ、詩人と呼べるんじゃないかな。

晴恵　……難しいですね。でも、これからだんだん判ってくるんだと思うと、楽しみです。

東風

立川市民俳句会の春の会でつぎのような句が出たことがある。沈丁や猫の屍を深く埋む◆多分、愛猫であろうこの句を、悲しみをこらえて「深く」埋めたのであった。同様の経験をしたことがあるので、感情移入がしやすかったのであろう、入選にいただいた。兎が死んだ時に、正に「深く」埋めて読経をして弔ったことがある。人の死については勿論だが、可愛がっていた動物についても、他人には計り知れない悲しみがこみあげてくるものである◆樹木についても同様な感性をもっている人たちがいる。これは福岡での話だが桜の古木にこんな色紙が結ばれていたという。「花あわれ　せめてはあと二旬　ついの開花を　許し給え」。市民が詩心のある人で「桜花惜しむ　大和心の　うるわしや　とわに匂わん　花の心は」という返歌をもって道路拡張計画が一部変更され、古木の命が助かった◆高松町一丁目交差点そばの「スズカケ三兄弟」は、多分、立川の名木というほどの存在感はないかも知れない。知れないが、この三兄弟をいとおしみ、もしかすると伐採の憂き目にあうかも知れないと聞いたとき、なんとか、それだけは阻止出来ないだろうかという声が方々から編集部に届いてきた。生きとし生けるものへの愛惜の感性は、その人のこころの中に「風景」が宿っているかどうかであろう。金子みすゞの詩を読むとそのことがよく解る◆鈴掛の　花薫りけり　えくてびあん

月刊えくてびあん　第178号
平成十一年五月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5
杉田ビル6F　郵便番号190-0012
電話　〇四二（528）0082
FAX　〇四二（528）0065
編集発行人　立井啓介
印刷所　㈱大廣社

[表紙] 日本画「時計草と南の貝」杉山紀美子
[編集] 池田陸男　小林庫史　名原信真　山田恵子　大久保清志　新井紀美子　中村　伸　五井平平　井上義治

えくてびあんの輪

人がゐて、街があります。
あなたがゐて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも、えくてびあん！

今月は曙町(B)・高松町・栄町・幸町・錦町・羽衣町のお店です。

曙町
- るもん　曙町2-12-13　527-3022
- ケンタッキーフライドチキン立川支店　曙町2-12-16　528-2636
- 住友銀行 立川支店　曙町2-13-1　522-6171
- 東京三菱銀行 立川支店　曙町2-13-3　524-4121
- 立川郵便局（本庁舎）　曙町2-14-36　524-6114(代)
- 喫茶アバン　曙町2-17-15　527-4479
- トポス立川店　曙町2-18-18　525-0331
- 東京フロンティア　曙町2-19-9　527-3943
- エミリーフローゲ立川高島屋店　曙町2-39-3-3F　526-9788

高松町
- 多摩画材（景品交換所）　高松町2-1-25　522-6031
- 丸助青果店　高松町2-4-18　522-3542
- スーパーやなぎや　高松町2-5-17　522-4322
- 肉の専門店 伊勢屋　高松町2-6-20　524-2734
- 洋菓子マリアン　高松町2-10-22　524-3912

高松町
- 横町屋　高松町2-11-23　522-2609
- 山梨中央銀行 立川支店　高松町2-16-13　526-1571
- TIP-TOP Cafe-Restaurant　高松町2-27-27　525-2030
- フレンド書房　高松町3-18-2　527-1555

羽衣町
- 洋菓子サロンケーキスタジオ35　羽衣町2-6-1　527-6808
- 林歯科　羽衣町2-7-10　522-5657
- 中島豆腐店　羽衣町2-12-34　522-5732
- 珈琲屋らうむ　羽衣町2-27-9　526-3643
- 和風レストラン蔦屋　羽衣町2-27-14　526-3698
- 立川商店　羽衣町2-30　522-3565
- 泰明堂　羽衣町2-31-1　522-3353
- おそのい時計店　羽衣町2-32-2　522-5211
- 文具のないとう　羽衣町2-33-1　522-3677
- 赤松タバコ店　羽衣町2-42　524-7852

錦町
- Coffee Shop 遊香　錦町1-4-24　527-3840
- ステーキのリブレ　錦町1-8-3　527-1630
- 和菓子処ゆうき　錦町1-8-5　525-0780
- 美容室アリス　錦町1-15-21　525-1100
- うちのやブルマン　錦町1-18-7　524-9280
- むぎばたけ　錦町2-1-1　526-0210
- 池田屋商店　錦町2-1-10　522-3731
- 美容室赤い鳥　錦町2-1-10　528-2389
- 寿屋酒店　錦町2-1-13　522-3625
- しゃぶしゃぶ・鉄板焼しゃぶりん　錦町2-1-33-3F　527-2228
- TAPAS　錦町2-2-29　529-0733
- 振興信用組合 立川支店　錦町2-2-32　524-1471
- 三田花店　錦町2-5-23　524-4187
- セガミ薬局　錦町2-7-8　525-9212

錦町
- マルミヤスポーツ　錦町2-7-8　522-2912
- アミューたちかわ（立川市民会館）　錦町3-3-20　526-1311(代)
- そば高尾亭　錦町5-5-31　522-2710

栄町
- 多摩中央信用金庫 栄町支店　栄町2-59-8　536-9711
- 手打ちそば佶更　栄町5-12-1　537-0991
- 相模屋酒店　栄町5-61-8　536-2476
- メンズカットヤザワ　栄町5-61-31　536-8738
- 森田接骨院　栄町6-6-25　535-6240

幸町
- いなげや 立川幸店　幸町1-23-6　537-1820
- 花奴 すずかけ通り店　幸町3-17-3　536-8785
- ティールーム ブチフルール　幸町4-16-1　535-6734
- ロッテリア 立川勝川九番店　幸町4-38　537-4413
- たちばな　幸町5-2-16　537-0347
- BSタイヤショップ 佐藤商会　幸町5-10-2　537-0912

連載　四字熟語（21）

先従隗始

「先ず隗より始めよ」という。優秀な人材を招くには、まず手近な者から優遇しなさいということ。

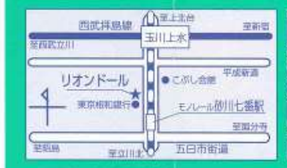
燕の昭王が人材を集めようとして郭隗に相談した。郭隗は「まずこの隗から優遇なさること、そうすれば私以上の者が集ってきます」と答えた。昭王はそれを聞き入れ、隗を厚遇し、その噂を聞いた各地の英傑が燕に集ってきたという故事による。

立川に育てられて六十三年
真如苑
柴崎町1-2-13 Tel.527-0111(代)

真味百撰㉕

ベーカリー リオンドール
柏町3-3-5ニュー柏ビル101／535-4882
7：00～19：00／日曜定休

いつも揚げたて
カリカリカレーパンは
中味のカレーがしっかりしてます。



たとえば宿屋の朝食で、パリッとした焼きたてのパンに出会う。するとその日一日が、がぜん違ったものになる。

柏町にあるベーカリー、リオンドール店主の横内康則さんの場合。人生までも変わってしまった。8年前、音響機器メーカーに勤めていた横内さんは、出張でフランスはリヨン郊外の田舎町、ジャンゼル赴いた。その折、ホテルの朝食のフランスパンの味に感動。「これだ！」と帰国後即退社し、パン職人の道に足を踏み入れた。25歳の時だった。自分の店を持つことを念頭に6店のパン屋を巡り修業。そして3年前、遂に自らの店を開店。店名には人生の転向のきっかけになったホテル「リオンドール」の名をそのまま冠した。

一番力を入れているパンは？の質問に「カレーパンです」とためらいなく答える横内さん。ウチはこのパン。というものをひとつ持とうと模索するうち、あるカレーに出会った。「これならいける」主役はカレーパンに決まった。その後改良を重ね、「リオンドールのカレーパン」ができあがった。

思惑通り一番人気のカレーパンは、一時間毎に揚げたてが並べられる。全部で65種類のパンは細かに焼き上がりのタイムテーブルが組まれ、いつでも焼きたてパンが揃っている。

お薦めはカレーパンの他にコロッケコッペ（共に100円）、ミルクフランス（110円）。常連と思しきお客さんのトレーの上には、必ずこれらのうちーつは乗せられていく。

新しいさくら銀行の通帳&カード
さくら銀行
立川支店　〒190 東京都立川市曙町2-6-11　TEL.(0425)22-2151

アムス株式会社
カフェテリア 木の葉
気軽に入って
気楽に食べて……
そんな気さくな
お店です。
カフェテリア 木の葉
柴崎町・中央公民館横 ☎522-9251

たみ子さんのうた

9

画・武正博司

詩・清水たみ子

足音

小石をころころ
けつて行く、
お窓の下の足音だ。

軽いこまげた、つゝかけて、
ズボンに両手をつゝこんで、
月の光をあびてましよ。

どこの子だらう、
一人で
あゝ口笛をふいて行く。

昭和七年「赤い鳥」二月号より